

得意の歌を披露

柏崎カチイさん100歳を迎える

柏崎カチイさんが、昨年12月16日(水)入所する特別養護老人ホーム静和園で100歳の誕生日を迎えられ、小野町長から顕彰状と祝い金が手渡されました。

町長は「100歳おめでとうございます。とても元気で驚きました。これからもまだまだ長生きしてください」と祝いました。

高杉さんは、大正4年に車力村に生まれ、昭和9年に旧小泊村の柏崎初助さんに嫁ぎました。77歳まで元気に出稼ぎに行っていました。趣味は歌を聴くことで、よく口ずさんでいたそうです。この日も、町長からマイクを近づけられると、元気よく歌を披露していました。



頑張ってきてください」と激励しました。

選抜出場を報告

東日本選抜中学生野球選手権大会

1月30日から千葉県で行われる東日本選抜中学生野球選手権大会へ出場する北五選抜チームに、前田快人くん(中里中2年)、加藤北斗くん(中里中2年)、久保田翼くん(小泊中2年)の3人が選ばれ、1月14日(水)役場を訪れ秋元副町長に報告しました。

3人は「チームのためにがんばる。野球部のみんなにも教えられるようにたくさん学んでいきます」と決意表明をしました。それに対し、副町長は「選ばれたことに自信を持って悔いのないよう

悪い物が“さる”ように

新年を祝う集い

新年を祝う集いが、1月4日(月)町総合文化センターパルナスで行われ、町関係者など約130人が参加しました。開会では、主催者の小野町長が「町のイメージキャラクターや中泊メバル膳のデビュー、明の星短期大学との官学連携協定の締結、沖縄県久米島町との交流再開、合併10周年記念の梅沢富美男劇団中泊町特別公演などを行ってまいりました。今年は引き続き子どもの保育料と中学校3年生までの医療費の無料化を行い子育て環境の充実を図るとともに、農地・漁場の基盤整備に努め、経営安定対策を講じて町民が暮らしやすい“あずましい町”作りに邁進していく所存です」と新年のあいさつをしました。つづいて来賓として成田県議会議員があいさつ、兵庫町議会議長の発声で乾杯した後、参加者たちは、それぞれ新年のあいさつを交わしたり、意見交換をしていました。最後は運試しの抽選会で楽しみながら、さる年の新年を祝いました。



町の農業のために

新農業委員へ辞令交付

小田川土地改良区役員改選に伴う推薦により、大川新造氏が新たに農業委員会委員として選任され、12月10日(水)町長室で小野町長より辞令が手渡されました。

町長が「農業委員として、町の農業をよろしく願います」と声をかけると、大川さんは「町の農業に貢献していきたい」と抱負を述べました。



寒さも吹き飛ばす力走

元旦マラソン

新年最初のイベントである恒例のマラソン大会が、元旦朝に体育センター前で行われました。開会では小野町長が「明けましておめでとうございます。今日は新年のスタート。ケガのないよう頑張ってください」とあいさつしました。

この日は雪がふり、厳しいコンディションとなったが、参加した68人の選手たちは、頭に雪が降り積もりながらも、体育センターから津軽中里駅までの往復約2kmをそれぞれのペースで走りました。また、中里交番と交通指導隊がコース上で選手誘導やチラシ配布などで交通安全を呼びかけました。参加者は「今年は晴れていたのが気持ちよく走れた。また来年も参加したい」と話していました。



無病息災を祈り

恒例のどんと焼き

正月の松飾り、注連縄、破魔矢、お守りなど役目を終えた縁起物を家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという日本全国に伝わる正月の火祭り行事「どんと焼き」が、1月9日(土)宝の森広場特設会場で行われました。吹雪となったこの日は、例年より来場者は少なめとなりましたが、約100人が参加しました。

祭事は弘法寺三浦副住職が祭司を務めました。どんと焼きの火にあたるとその1年間健康でいられるなどの言い伝

えもあり、集まった町民も立ち上がる炎に向かって手を合わせ無病息災を祈りました。

今年の決意を述べる

中里高校で新年立志会

新しい年にあたり、1年の決意を新たにしようと、1月12日(火)中里高等学校で新年立志会が行われました。全校生徒が参加した立志会では、秋田瞳真生徒会長が「新年も体に気をつけてがんばりましょう」とあいさつした後、各クラスから代表して1人が今年の決意表明をしました。その後、全校生徒で餅つき会を行い、つきたての餅を味わいました。参加した生徒は「新しく立てた今年1年間の目標を達成できるようにがんばりたい」と話していました。



筆に込めた願い

県学生かきぞめ席書大会

日本教育書道会(会長・古川暁洲)が毎年開催する県学生かきぞめ大会が、1月11日(月)五所川原市民体育館で行われ、西北五地区の幼児から高校生らが参加しました。参加者は、学年毎に決められたお題に真剣な表情で取り組んでいました。中泊町からの入賞者は次のとおりです。

日本教育書道会会長賞 鍋田夕海美(小泊中) / 中泊町長賞 佐々木里(中里中) / 中泊町議会議長賞 石川采(中里中) / 中泊町教育長賞 外崎



聖椰(武田小) / 特選 中谷麻琴(富野こども園)、塚本帆夏(武田小)、菅原有紗(武田小)、佐々木桜実(薄市小)、鍋田垂衣海(小泊小)、田中紗綾(武田小)、新岡李桃(武田小)、山田晃雅(小泊小)、越野桃百佳(小泊中)

商品開発や収穫・販売体験

高校生まちづくり塾

中里高校生徒を対象に毎年行われていた高校生まちづくり塾が、今年度は金木高校生徒も初参加して開催されました。12月26日(土)に町農産物加工販売所ピュアの調理室に集まり、これまで開発したジャムやカップケーキを作りました。

また、1月16日(土)には、農業体験合宿が行われ、薄市地区にある佐藤イネ子さんのビニールハウスでアスパラガスや水菜の収穫と袋詰め作業を体験しました。収穫したアスパラガスをアルミホイルで包み焼きして試食すると「おいしい。甘い」と口々に感想がでていました。翌日には、蓬田村物産館「マルシェよもぎた」で収穫したアスパラガスや水菜など計100袋を売る販売体験を行いました。参加した生徒は「自分が収穫したものが売れるとうれしい。今度は自分たちで開発した商品を売りたい」と意気込んでいました。



思い思いのケーキ作り

子ども会育成連合会がケーキ作り

町子ども会育成連合会が、12月23日(水)日本海漁火センターでクリスマスケーキ作りを行いました。

ケーキ作りには、同連合会の会員21人が参加して、果物を切ったり、生クリームを泡立ててスポンジケーキに塗ったりしていました。出来上がったケーキは子どもたちの個性が表れており、みんな満足気な顔をしていました。

最後に、みんなで指導員の渋谷鶴乃さんが作ったケーキを食べました。

参加した子どもたちは「生クリームを泡立てるのが大変だった。でも、ケーキに塗ったりするのは楽しかったので、また来年もやりたい」と笑顔で話していました。

昔ながらの遊びに夢中

下前でゆきんこまつり

下前地区の3つの母親クラブが、1月12日(火)すくすくしたまえ館でゆきんこまつりを開催しました。この催しは、母親クラブのみなさんが地域の子どもたちに昔の遊びを教えたり、食事を楽しんだりしながら交流するものです。

この日は地元の親子を中心に45人が参加、大型カルタ、親子〇×クイズ、ハンカチ落とし、輪投げ、ドップなどを楽しんだ後、カレーやデザートと一緒に食べながら、世代間の交流を楽しみました。



笑いの絶えない勝負

福浦老人クラブで吸盤綱引き大会

福浦老人クラブ(会長・竹谷義清)の定例会が12月12日(土)鶴寿荘で行われ、第1回吸盤綱引き大会が開催されました。

おでこに吸盤をくっつけた状態でお互いに引き合い、先に吸盤が取れたほうが負けとなります。勝負が始まると、両者ともに真剣な顔で引っ張りますが、勝負がつくと勝っても負けても笑いが起こっていました。参加した人は「こんなに笑ったのは久しぶり。またみんなでやりたい。次は負けない」と笑顔で話していました。

